令和６年３月１日号
3月
NO.84

おおい町かわらばん

発行・編集／大井地域自治区運営協議会　恵那市長島町正家 1-1-1
電話：0573-25-8220　FAX：0573-26-0596　mail：ooijichi@gmail.com

大井ダム100周年記念
恵那峡さくらまつり

【開催日時】3 月 30 日（土）～31 日（日）10 時～16 時
【開催場所】恵那峡公園内
【内　　容】①飲食・雑貨ブースの出店「**えなマルシェ**」
②恵那市茶道連盟による「**さくら茶会**」
③野外ステージ「**おとてらす**」
④公園内を散策「**スタンプラリー＆ガラガラ抽選会**」
⑤体を動かす「**ふれあい広場**」

恵那峡ライトアップ開催
期間：3 月 23 日（土）～4 月 7 日（日）
時間：日没～22 時まで　こちらもぜひ！

知っていますか？謎多き仏師 福崎日精（ふくざき　にっしょう）

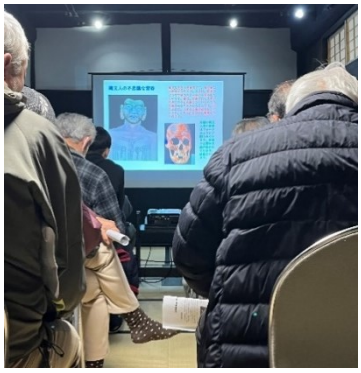
　ここに１枚の写真があります。
これは、謎多き仏師といわれた福崎日精が写った貴重な写真です。そして中央の仁王像は、かつて土々ケ根地内にあった福崎が造立したものです。
　昨今、ネットで話題となり紹介されてから、情報が集まるようになって、福崎の足取りが分かってきました。
　生家は五代続いた造り酒屋でしたが、左官業も営んでいたため、若くして家を出て左官の修行をしながら、修行僧として各地を巡っていました。その先々でコンクリート像などを残してきましたが、名前を刻まなかったため、あまり知られていませんでした。
　そんな福崎の造立した像が恵那峡周辺に沢山残っています。
　彼の作品がこんなにまとまって残っているのもこの地だけです。
　謎多き福崎日精の足跡をたどって、中山道かたりべの会が冊子にまとめました。
興味がある方はご連絡ください。【問い合わせ】明治天皇大井行在所　電話：0573-25-7101

大井町内4つの園 節分の様子

すずめっこ杉の子幼稚園

千草保育園

ふるさと歴史講座が開催されました



二月三日(土)、大井行在所で、郷土史研究家の西部良治さんを講師に「おおわご遺跡」の講座がありました。

阿木川ダム建設で、湖底に沈んだ古代の遺跡・おおわごの出土品の展示も行っており、古代の生活なども垣間見えるとても興味深い話でした。

次回は、おおわご遺跡の第二弾を開催します。

【次回展示】四月十七日～
【講座日時】四月二十日 十三時半～

町民健幸ふれあい健康づくり

一月二十一日(日)、大井町スポーツ協会と大井町自治連合会共催で、ノルディックウォーキングの体験会が開催されました。

二本のポールを持って歩くのが特徴で、老若男女問わずできる軽スポーツです。町内でもポールを持って歩く方を見かけますが、ポールを持つことで正しい姿勢を保つことができます。

市体育連盟の方の指導を受けて参加者は正しい姿勢と歩き方を学びました。

スポーツで延ばせ健康寿命！

かわらばん応援店

城ケ丘こども園

大井こども園

市民三学大井委員会 会員大募集！

市民三学大井委員会は、恵那市の偉人佐藤一斎の三学の教えを基に活動しています。

歴史的な町並み保存、それを活かしたまちづくりをしている地区への視察研修や、大井の歴史文化・伝統、昔話をオリジナル紙芝居にして読み聞かせをしてきました。一緒に活動していただける会員を募集します。

読み聞かせ隊は、毎年新しい紙芝居を製作してきました。これまで 15 作品を数え、今年度は、大井ダム建設 100 年の物語の紙芝居を製作し、小学校や芸能フェスタ、七日福市などで披露してきました。

【申込み・問合せ】市民会館　電話：0573-26-6919

RECYCLE

大井第二小学校と恵那東中学校の
リサイクルステーションの回収報告です。
地域のみなさんの協力に感謝します。

«だい二小リサイクルの森»　4 月～12 月

	回収量	販売金額
ダンボール	**2,470** kg	**9,880** 円
雑誌	**2,230** kg	**6,690** 円
新聞・チラシ	**1,330** kg	**5,320** 円
雑がみ	**1,080** kg	**2,160** 円
アルミ缶	**270** kg	**10,800** 円
合　計	**7,380** kg	**34,850** 円

«東中リサイクルステーション»　4 月～12 月

	回収量	販売金額
ダンボール	**3,690** kg	**14,760** 円
雑誌	**1,380** kg	**4,140** 円
新聞・チラシ	**1,710** kg	**6,840** 円
雑がみ	**2,080** kg	**4,160** 円
アルミ缶	**389** kg	**15,560** 円
合　計	**7,104** kg	**31,150** 円

かわらばんこぼれ話

大井町観音寺から中津川市茄子川へ通じる飛騨街道の市境に笠木大権現の大きな石碑（高さ 120 ㎝、横 80 ㎝）が建っています。この石碑は江戸時代、大井村と茄子川村の境にある水野手山の利用や境をめぐって争った事に関係があります。

記録によると 1718 年（享保 3 年）の江戸評定所の裁許により、山境が明確にされましたが、再び争いがおこり 1780 年（安永 9 年）7 月に太田宿の福田七郎右門・伏見宿の岡田興二右門・土田宿の林吉左右門の三氏の調停により解決した証として名前が刻まれている珍しい石碑です。ここで注目するのは、石碑に刻まれている「笠木大権現」の“笠**木**”が“笠**置**”でなく“**木**”が当てられていることです。これは**木**が人々にとって大事な資源であり、それを産みだす山は生活に欠かせないことから境をめぐる山論（さんろん）が各地でたびたび起こりました。

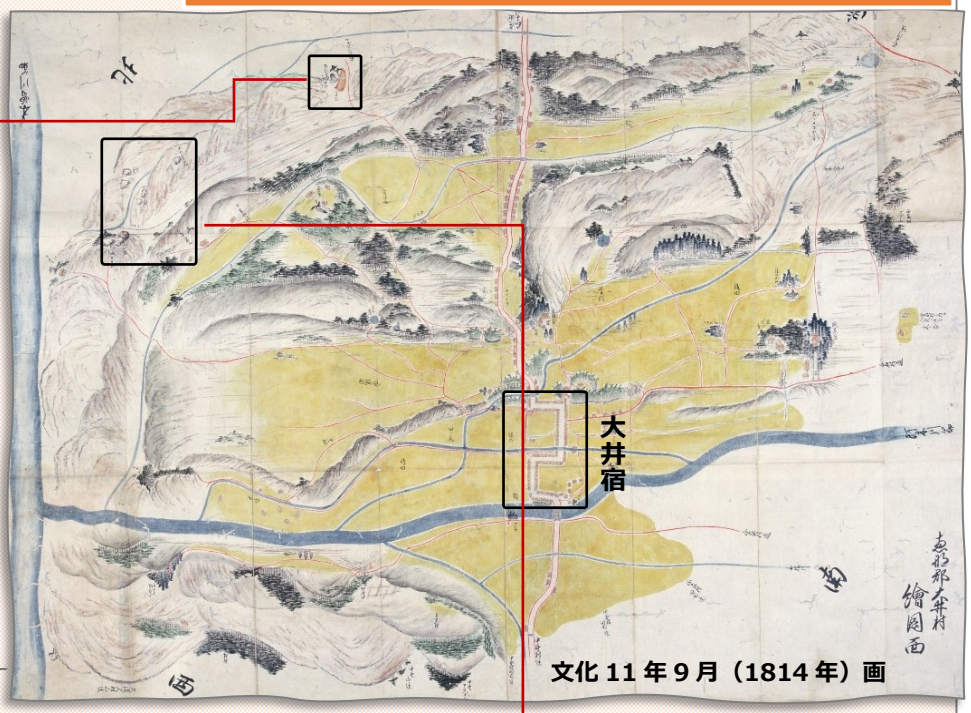
ここ大井でも石碑がそれを物語っています。-M･H-

【笠木大権現の石碑】
ここには、三宿の名と三氏の名前がしっかりと記されており、下の古地図・拡大図1には石碑茄子川境と読み取れ、地図に示された石碑はこの笠木大権現とみています。

古地図から　こぼれ話深掘り

【拡大図 1】

付石碑茄子川境



拡大図 1 に記された「石碑」の文字は、数ある石碑の中でもここだけです。なぜわざわざ記されたのでしょう！それはこの古地図を描いたのが現・ひしや資料館古山家の 11 代古山利助で、山境の立会人だったのが 8 代古山利三郎であったことからだと推測しています。

拡大図 2 からは他にも「カサ石」、「べニ岩」、「タイコ岩」、「ホウロク岩」という文字が読めます。大井の紅岩、傘岩、太鼓岩はその名を多くの方が知るところですがホウロク岩？とは聞いたことがなく、わざわざ明記するほどだから特徴ある岩なのだろうと思いました。そこで！現地を調査しました。「焙烙岩－ホウロク-」と思われる岩を探しました。　※写真右

地　区	2 月1日現在	前月比	前年同月比
大井町人口	12,655 人	-9	-76
世帯数	5,610 世帯	-1	68
高齢化率	30.07%	0.01%	0.01%
市　人口	46,775 人	-93	-687
世帯数	19,965 世帯	-38	117
高齢化率	36.09%	0.06%	0.34%

※高齢化率は人口に占める 65 歳以上の比率

一つの石碑からはじまった謎解きは、古地図に示された岩へと続き、時を経て変わらない存在と歴史へつながりました。

-J-

【拡大図 2】

※次回4月号かわらばんは休刊です